

## 令和4年度 当初予算計上事業（主なもの）

今年度の富山県小児医療等提供体制検討会でとりまとめた内容等を基に、令和4年度より直ちに取り組むべき下記の事業について、当初予算に計上

### 1 小児医療等提供体制の強化 計 8,438 万円

#### (1) 子どものこころの診療体制強化事業 1,970 万円

こころの問題や発達障害を抱える子どもに対応するため、県リハビリテーション病院・こども支援センター（以下、県リハ病院）の診療体制を強化

※児童精神科医(1→2名)・心理職(3→4名)の増員、医療クランク(3名)の配置

#### (2) 児童精神科医等養成講座設置事業 4,000 万円

子どものこころの診療を専門とする児童精神科医・小児科医・公認心理師を養成するための寄附講座を、富山大学附属病院に設置（R4～R8年度にかけて実施予定）

#### (3) 子どものこころの診療サテライト事業 1,100 万円

県リハ病院から各地域の基幹病院に医師を派遣し、発達障害児（疑い）の診療を行うとともに、OJTにより各基幹病院等の医師育成を図ることで、各地域における子どものこころの診療体制を充実

#### (4) オンライン小児医療相談事業 900 万円

自宅に居ながら気軽に専門医に相談できる新たな支援体制として、オンラインツールを活用し、（顔の見える）小児医療相談サービスを無償で提供

#### (5) 在宅人工呼吸器使用児者向け非常用電源整備事業 318 万円

災害発生時等に備え、人工呼吸器使用児者を診療する医療機関に対し、人工呼吸器用の非常用電源の購入・貸出しを支援

#### (6) 小児医療等提供体制検討会費 150 万円

持続可能な小児医療提供体制に係る中長期的な課題等について、引き続き、専門家等による検討・PDCAを実施

## 2 富山県訪問看護総合支援センター事業 2,650万円

県看護協会内に新たに「富山県訪問看護総合支援センター」を設置し、訪問看護師の医療的ケア児等への対応力向上のための研修や、訪問看護師確保のための新卒看護師向けインターンシップ、災害時の訪問看護ステーションの支援体制の整備などを行い、訪問看護提供体制の安定化・機能強化を支援

## 3 (拡充)医療的ケア児等支援センター運営事業 680万円

県リハ病院内の「医療的ケア児等支援センター」において、家族等からの相談対応、市町村の体制整備への支援、医療的ケア児等コーディネーター養成研修を実施

## 4 その他(教育委員会関連)

### ○特別支援教育ICT活用パイロット事業 400万円

特別支援学校で医療的ケアを行う看護職員(6校に30人配置)が、指導医からオンラインで指導助言を得るための仕組みを整備

### ○(拡充)スクールカウンセラー配置事業 18,737万円

いじめや不登校等の生徒指導上の諸課題に対応するため、スクールカウンセラーによる支援体制を強化